

2009年度 第2四半期決算説明会

第86期：第2四半期（平成21年4月1日～9月30日）

2009.11.11



太平洋工業株式会社

目 次

1. 会社の概要・企業理念
2. 2009年度 連結・個別業績
3. 中期経営計画

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の概要

- ◆創業 1930年8月
- ◆代表者 社長 小川信也
- ◆資本金 43億2千万円
- ◆株式 東証・名証一部上場('70年8月)(証券コード 7250)

セグメント		プレス樹脂製品 事業	バルブ製品事業			情報 サービス	合計
事業			タイヤバルブ事業	制御機器事業	TPMS事業		
			P	V	C		
単 独	売上高('09予想)	420億円 71%	42億円 7%	43億円 7%	85億円 15%	—	590億円
	人 員	1,060人	450人			—	1,650人
	主要工場	西大垣、東大垣 養老、九州	美濃、北大垣	北大垣	北大垣	—	国内6工場
連 結	売上高('09予想)	565億円 75%	180億円 24%			5億円 1%	750億円
	人 員	2,030人	820人			80人	3,080人
	海外生産拠点	台湾、米国 中国	台湾、韓国 タイ	中国、韓国	—	—	5ヶ国 7会社
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ デンソー、豊田自動織機 パナソニック	ブリヂストン、横浜ゴム 住友ゴム、東洋ゴム 韓国タイヤ、正新 ミシュランタイヤ	デンソー、豊田自動織機 三菱電機、パナソニック 東芝、シャープ、グローブライト LG電子、海爾	トヨタ ホンダ 日産	太平洋工業 地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア	空調用制御弁	TPMS	ゴルフ場 人材派遣 ソフトウェア	

1-2 企業結合の状況

■ プレス樹脂製品事業 ■ バルブ製品事業

1. 連結会社：12社

区分	会 社 名	事業分野				主な事業内容	設立	議決権 比率	'09 売上高 予想	人員	
		P	V	C	情報・ サービス						
国内	ピーアイシステム株式会社 (PSC)				●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	4億円	56人	
	太平洋開発株式会社 (PDC)				●	ゴルフ場資産管理(養老CC)	1972年	66.1%	2億円	20人	
	太養興産株式会社 (TYC)				●	ゴルフ場運営(養老CC)	2005年	(PDC) 100%	—	—	
	太平洋産業株式会社 (TSC)				●	保険代理業務	1974年	100%	0.8億円	4人	
	国内連結会社 計								8億円	80人	
海外	米国	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)				下記米国会社の統括管理	1988年	100%	—	—
		Pacific Manufacturing Ohio Inc. (PMO)	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1999年	(PIU) 100%	147億円	459人
	台湾	太平洋汽門工業股份有限公司 (PVT)	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.2%	25億円	201人
	韓国	太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	●		バルブ関連製品の製造・販売	1987年	100%	7億円	77人
		太平洋エアーコントロール工業株式会社 (PAC)			●		カーエアコン部品の製造	2004年	(PVI 40%) 60%	6億円	20人
	タイ	Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd. (PIT)		●			バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	9億円	107人
	中国	青島太平洋宏豊精密機器有限公司 (QPH)			●		空調用バルブ関連製品の製造・販売	2000年	55%	7億円	148人
		天津太平洋汽車部件有限公司 (TPA)	●				自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	34億円	338人
	海外連結会社 計								239億円	1,350人	

2. 持分法適用会社：1社

国内	PECホールディングス株式会社 (PEC)	●		●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	21.9%	150億円	760人
----	-----------------------	---	--	---	--	----------------------	-------	-------	-------	------

1-3 企業理念・経営理念

企業理念

わが社はメーカーとして、

1. 技術開発に努め、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供していきます。

→

品質理念

2. 人間尊重を基本に、社員が“働く楽しみ”、“造る満足”を得る“場”を提供していきます。
3. 地球環境保全に努め、社会から期待される“良い会社”でありつづけます。

→

環境理念

経営理念

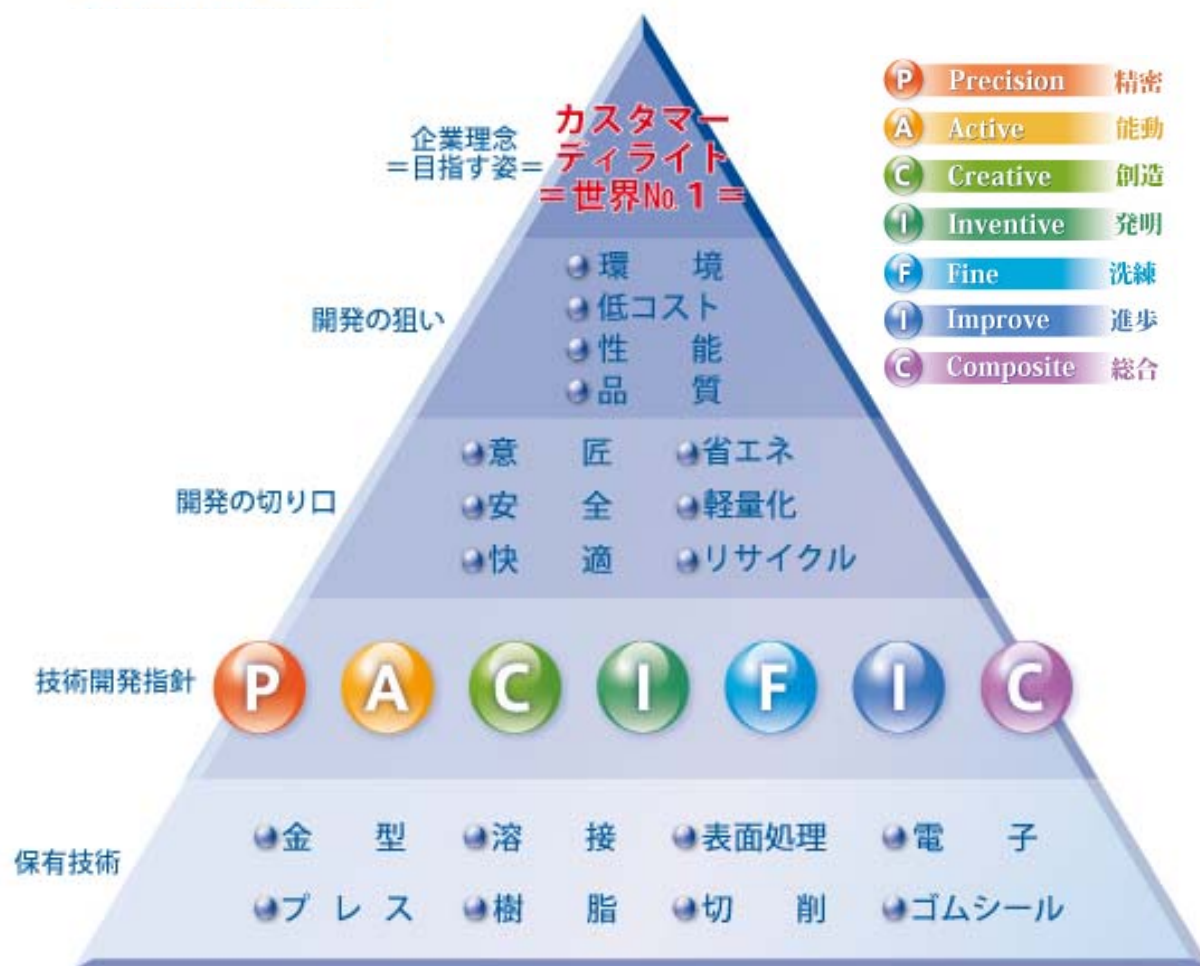
オープンでクリエイティブな経営
e-companyの実現

engineering	: 技術を売り物に
ecology	: 環境に配慮し
e-business	: eビジネス
emotional	: 活力に溢れ
efficiency	: 効率的に仕事をし
enrich	: 収益を確保しながら
enjoy	: 豊かな生活を楽しむ

1-4 技術開発・ものづくりの理念

技術開発

カスタマーデライトを理念に、
技術開発指針を策定

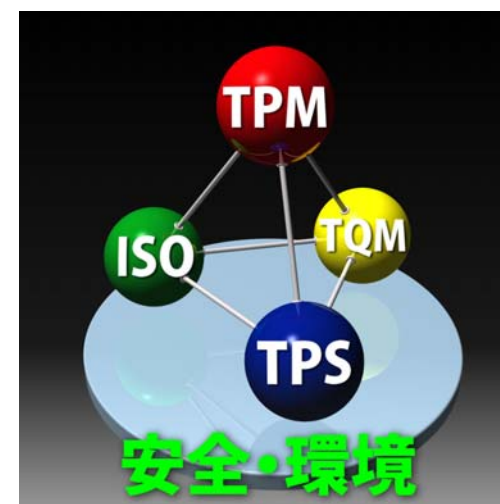


ものづくり

“ものづくり”は“人づくり”を理念に
技術と技能の両輪でものづくりを行う

四位一体のものづくり

一人一人の総合力アップ



TPS：人・仕組みの効率
TPM：設備の効率
TQM：品質・管理の効率
ISO：情報の効率

1-5 トピックス

●メッキに替わる光輝フィルムの ドアハンドルカバーを開発

- スマートエントリーシステムに適用する
電波透過性フィルム
- メッキレスにより、リサイクルが可能



●CSRの取り組み

- 「太平洋里山の森」活動
2009年10月 第2回植樹祭を開催
- 「CSRレポート2009」発行
マネジメント姿勢、経済性、社会性、
環境性の取り組みについて報告



2-1 第2四半期決算サマリー

	利益率	4/30前回 予想比	前年同期比
■ 連結売上高:	333億円	(+33億円)	(26.2%減)
■ 連結営業利益:	△0.9億円	△0.3% (+12億円)	(赤字化)
■ 連結経常利益:	△0.4億円	△0.1% (+12億円)	(赤字化)
■ 連結中間純利益:	5.3億円	1.6% (+11億円)	(55.8%減)
【中間配当】	【3円】	【配当性向 30%】	

<売上高>

プレス・樹脂製品事業、バルブ製品事業共に、主要顧客の自動車生産台数の減少により大幅に減収。

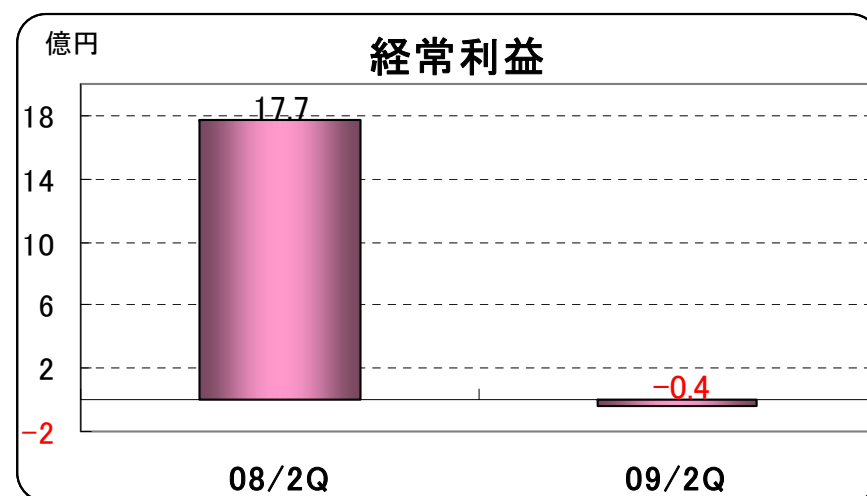
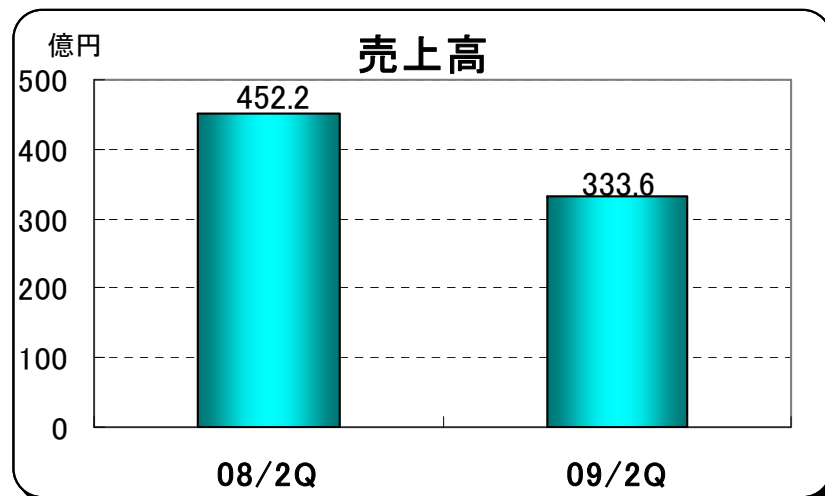
<利益>

原価改善、労務費・経費削減に注力したものの、売上物量の減少、減価償却費の増加により減益。

2-2 第2Q 連結業績

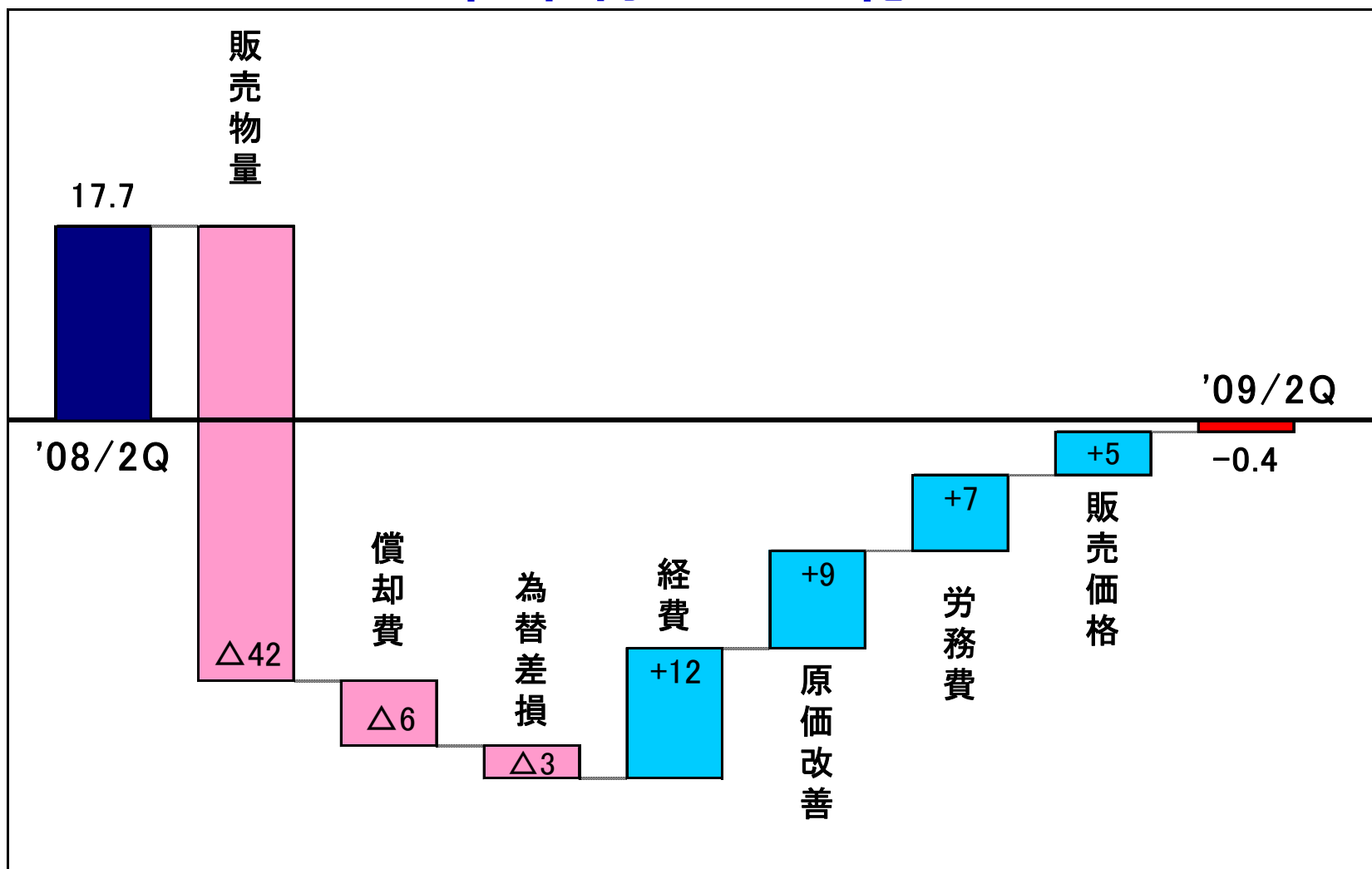
(百万円、%)

	前第2 四半期	第2四半期				前四半期比		
		4/30 前回予想値	実績	前回予想比				
				増減	増減率	増減	増減率	
売上高	45,227	30,000	33,368	3,368	+11.2	△11,859	△26.2	8期振り減収
営業利益	1,495 3.3%	△1,350	△96 △0.3%	1,254	—	△1,592	—	3期連続減益
経常利益	1,774 3.9%	△1,330	△42 △0.1%	1,288	—	△1,816	—	3期連続減益
四半期純利益	1,209 2.7%	△600	535 1.6%	1,135	—	△674	△55.8	2期振り減益



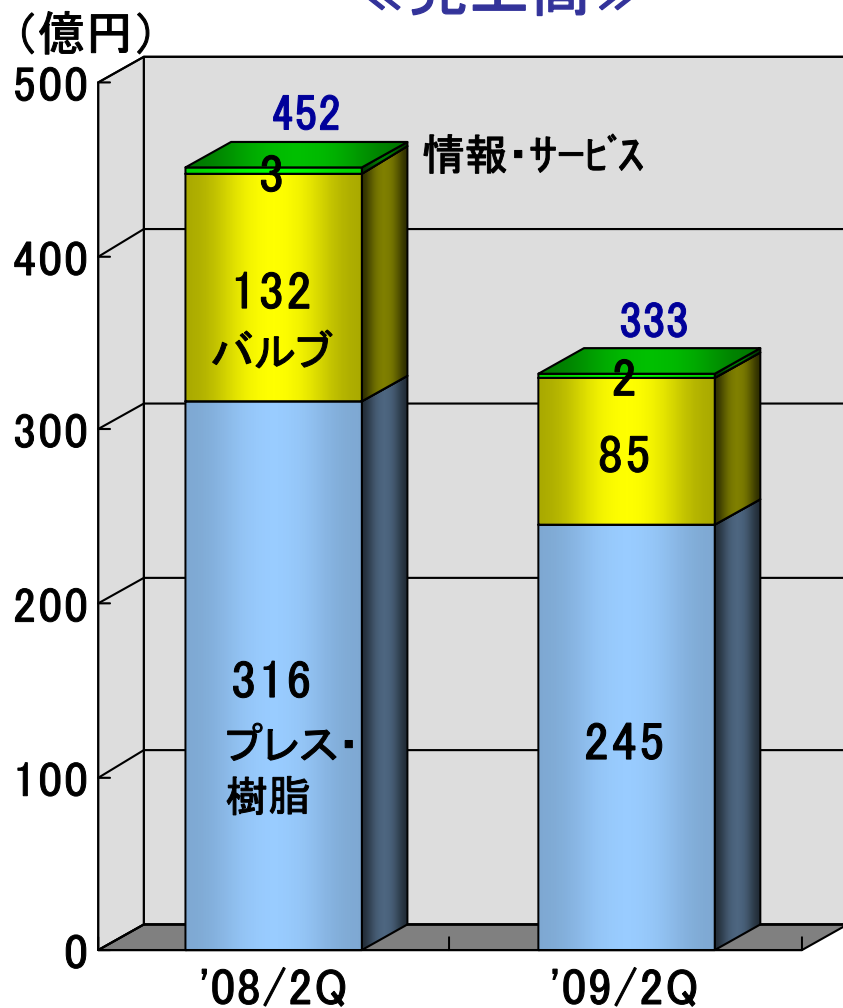
2-3 第2Q 連結利益増減要因

《'09第2Q 対 '08第2Q》
經常利益 $\Delta 18$ 億円

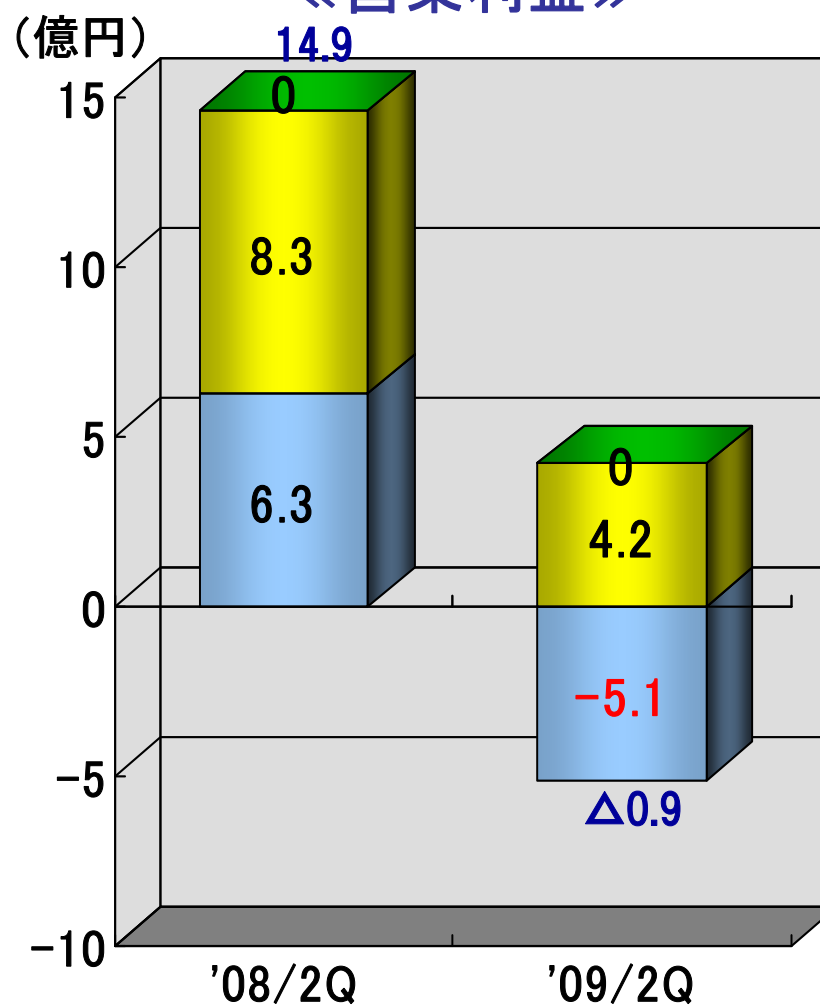


2-4 第2Q 連結事業別セグメント

《売上高》

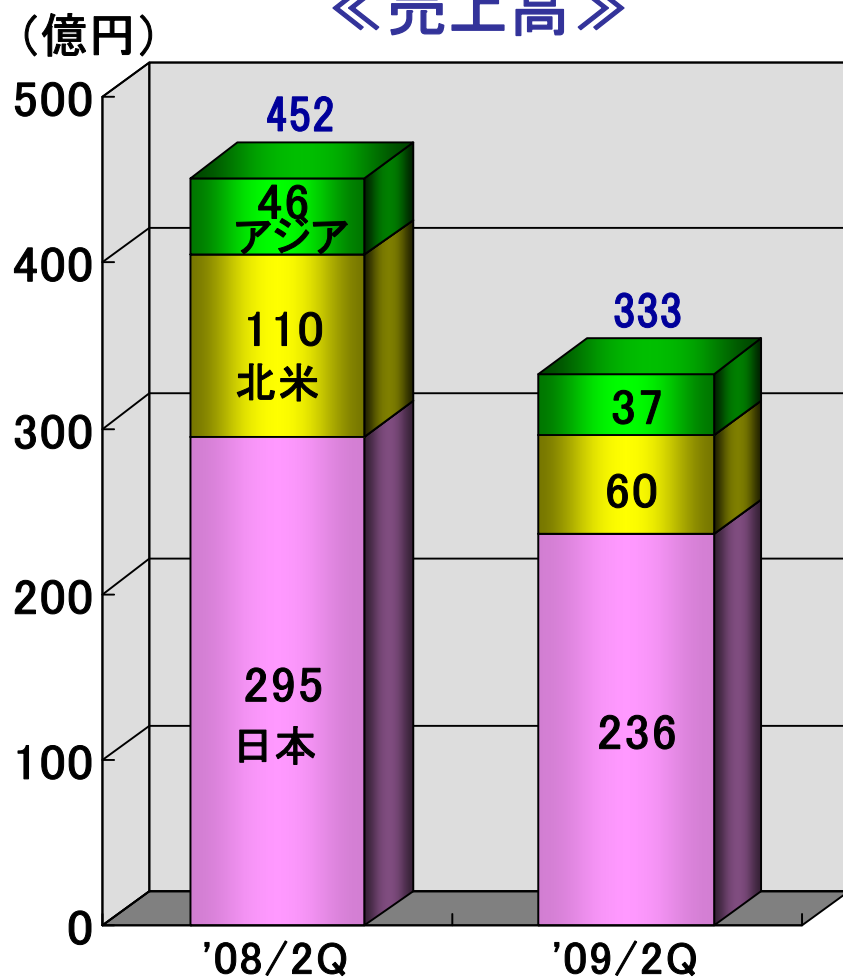


《営業利益》

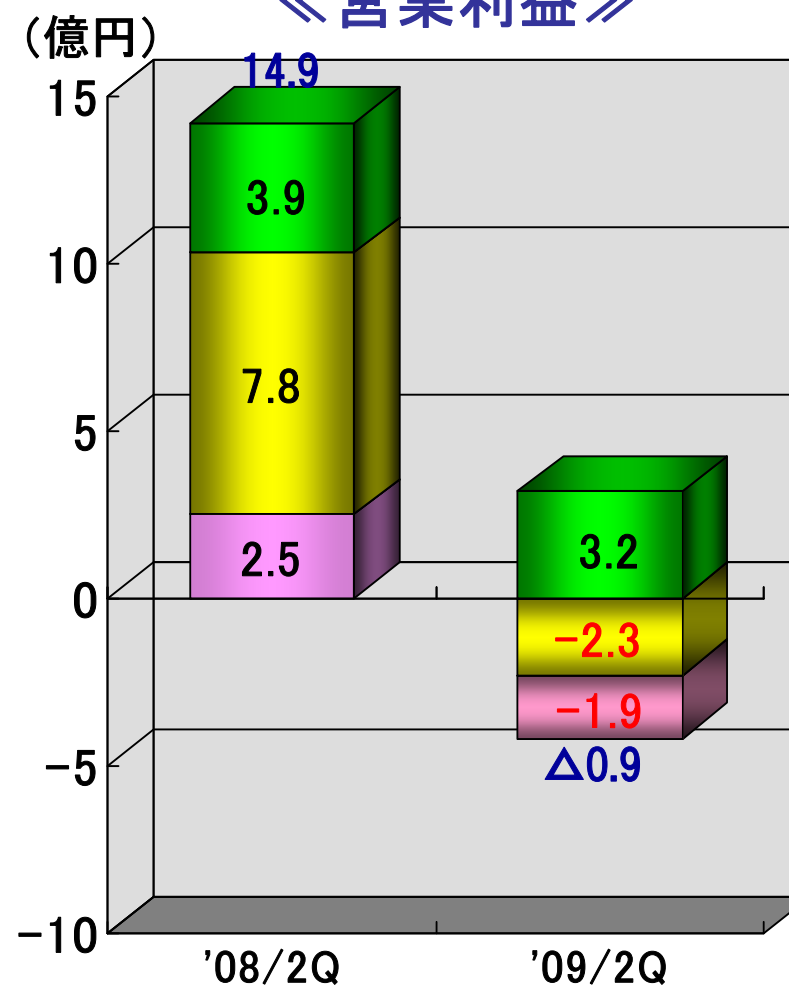


2-5 第2Q 連結地域別セグメント

《売上高》

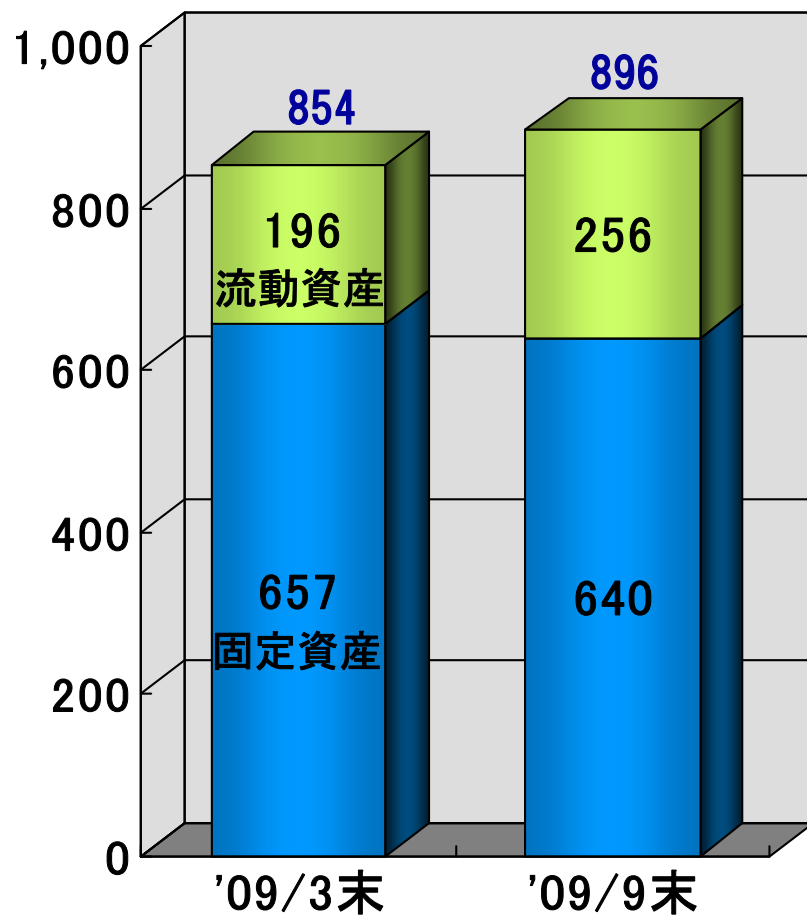


《営業利益》



2-6 第2Q 連結総資産 増減内訳

(億円)



流動資産 + 59 億円

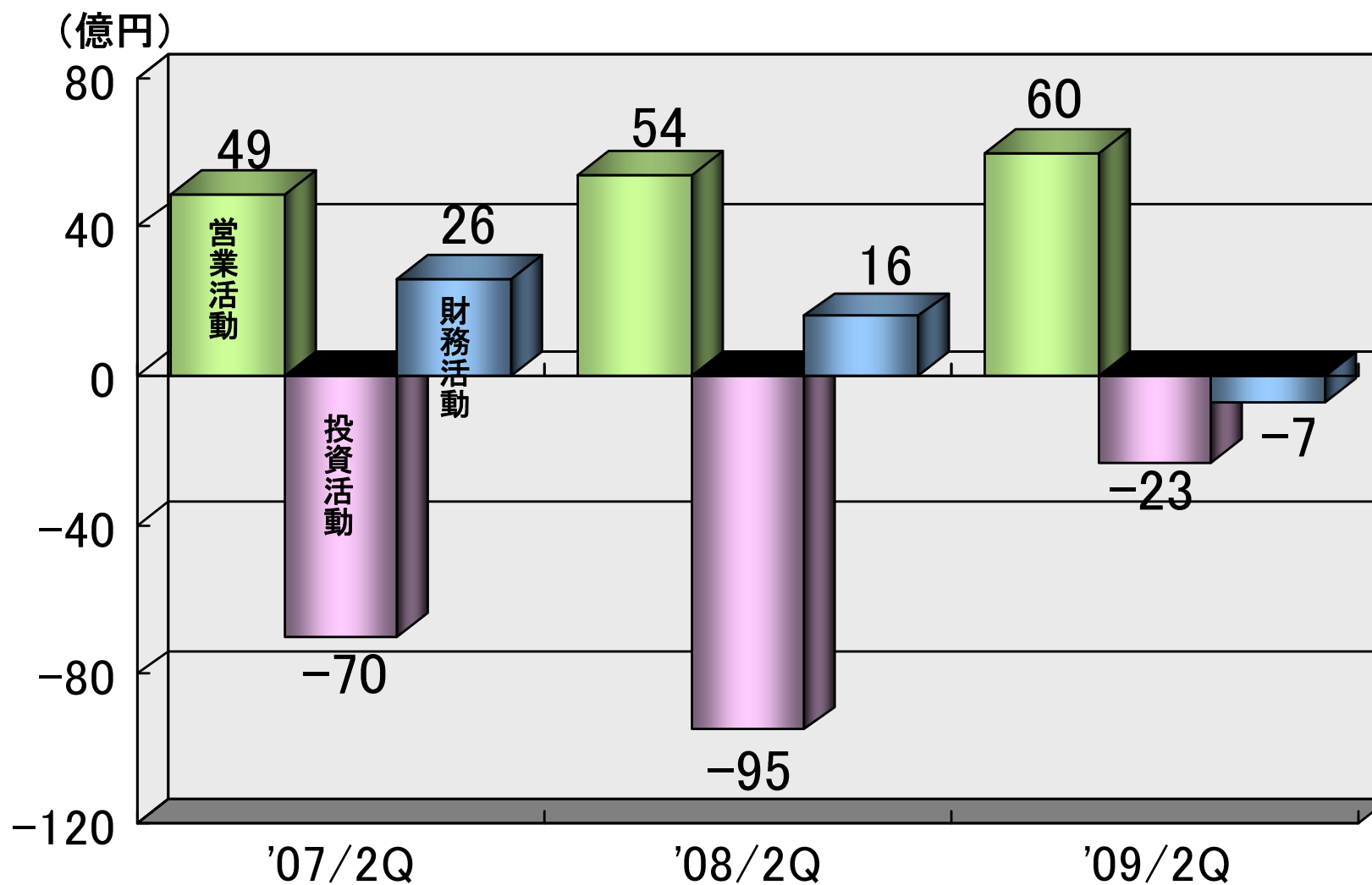
- ・ 現金・預金 + 30
- ・ 売掛債権 + 30
- ・ たな卸資産 Δ 8
- ・ その他 + 6

固定資産 Δ 17 億円

- ・ 有形固定資産 Δ 15
- ・ 投資その他 Δ 1

合 計 + 41 億円

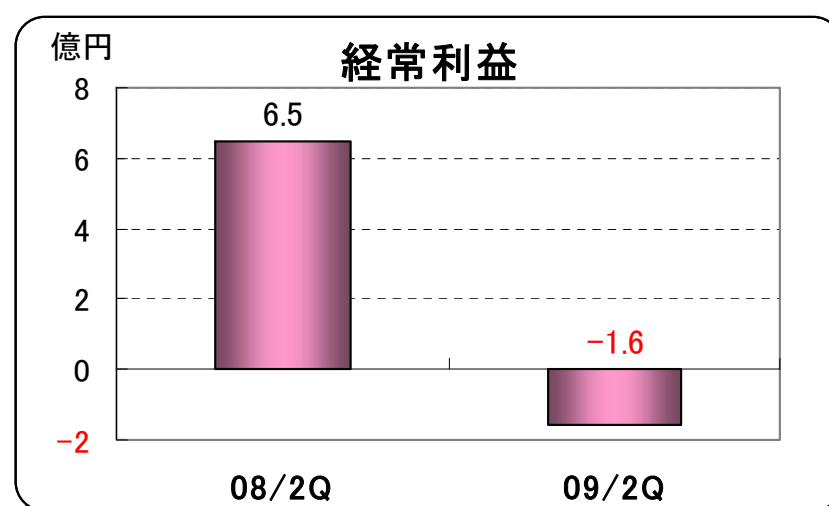
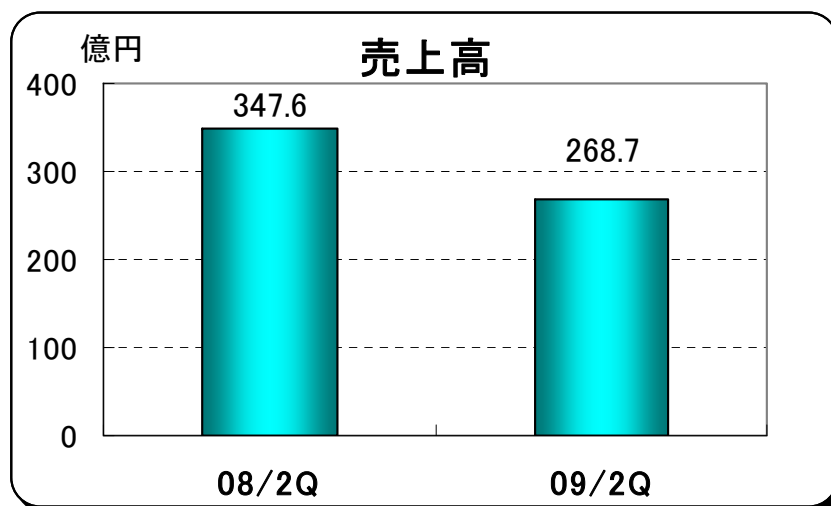
2-7 第2Q 連結キャッシュフロー



2-8 第2Q 個別業績

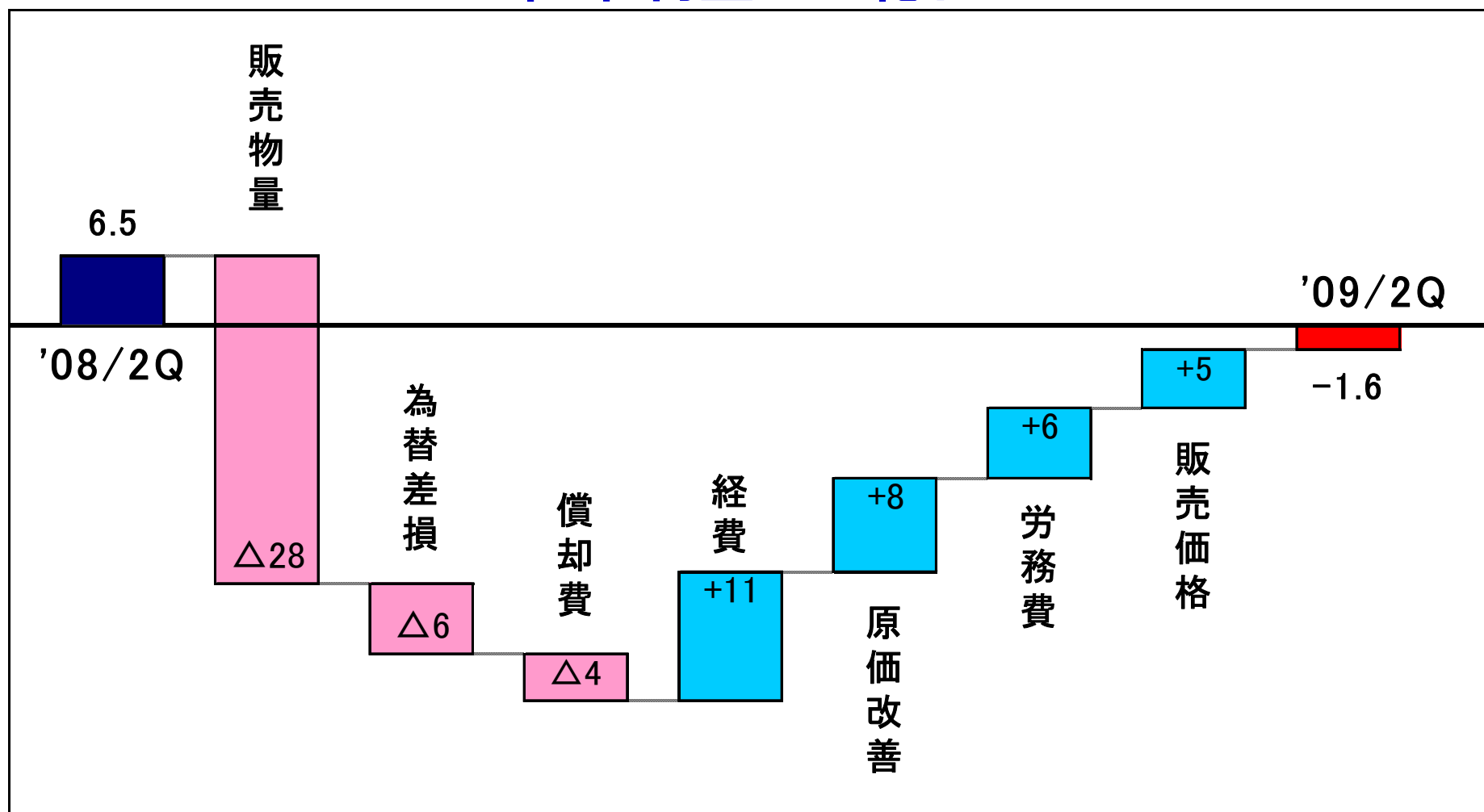
(百万円、%)

	前第2 四半期	第2四半期				前四半期比		
		4/30 前回予想値	実績	前回予想比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	34,766	23,000	26,871	3,871	+16.8	△7,894	△22.7	6期振り減収
営業利益	227 0.7%	△1,150 △5.0%	△197 △0.7%	953	—	△424	—	3期連続減益
経常利益	650 1.9%	△1,100 △4.8%	△161 △0.6%	939	—	△811	—	3期連続減益
四半期純利益	435 1.3%	△650 △2.8%	50 0.2%	700	—	△385	△88.4	3期連続減益



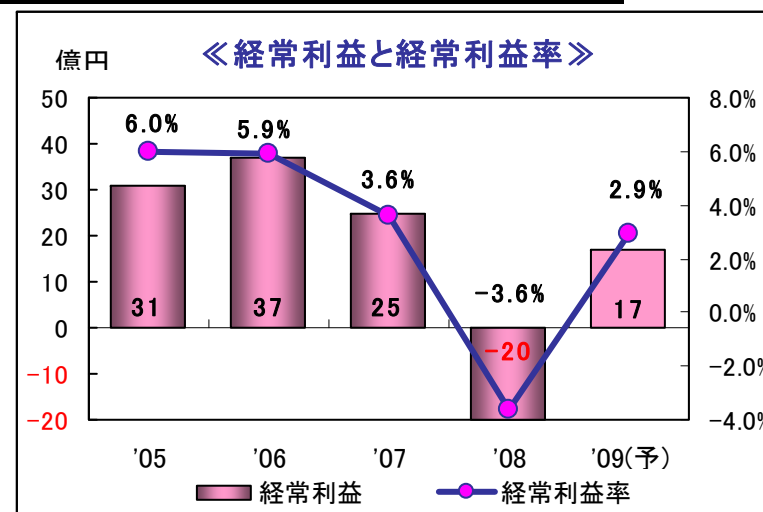
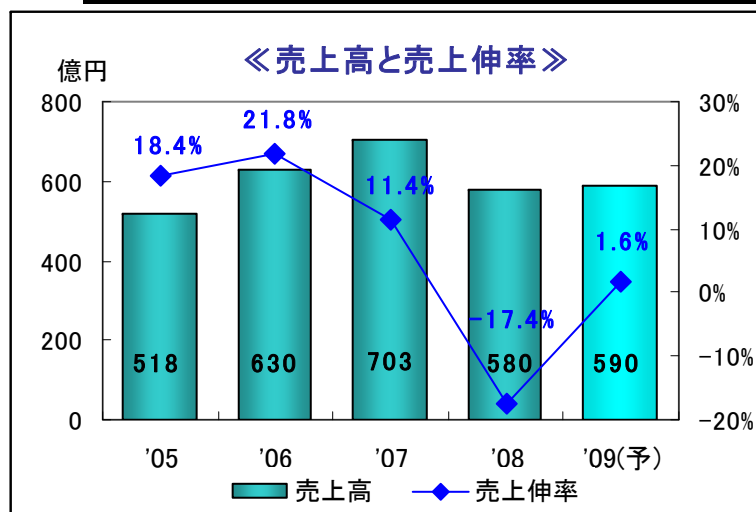
2-9 第2Q 個別利益増減要因

《'09第2Q 対 '08第2Q》
經常利益 $\Delta 8$ 億円



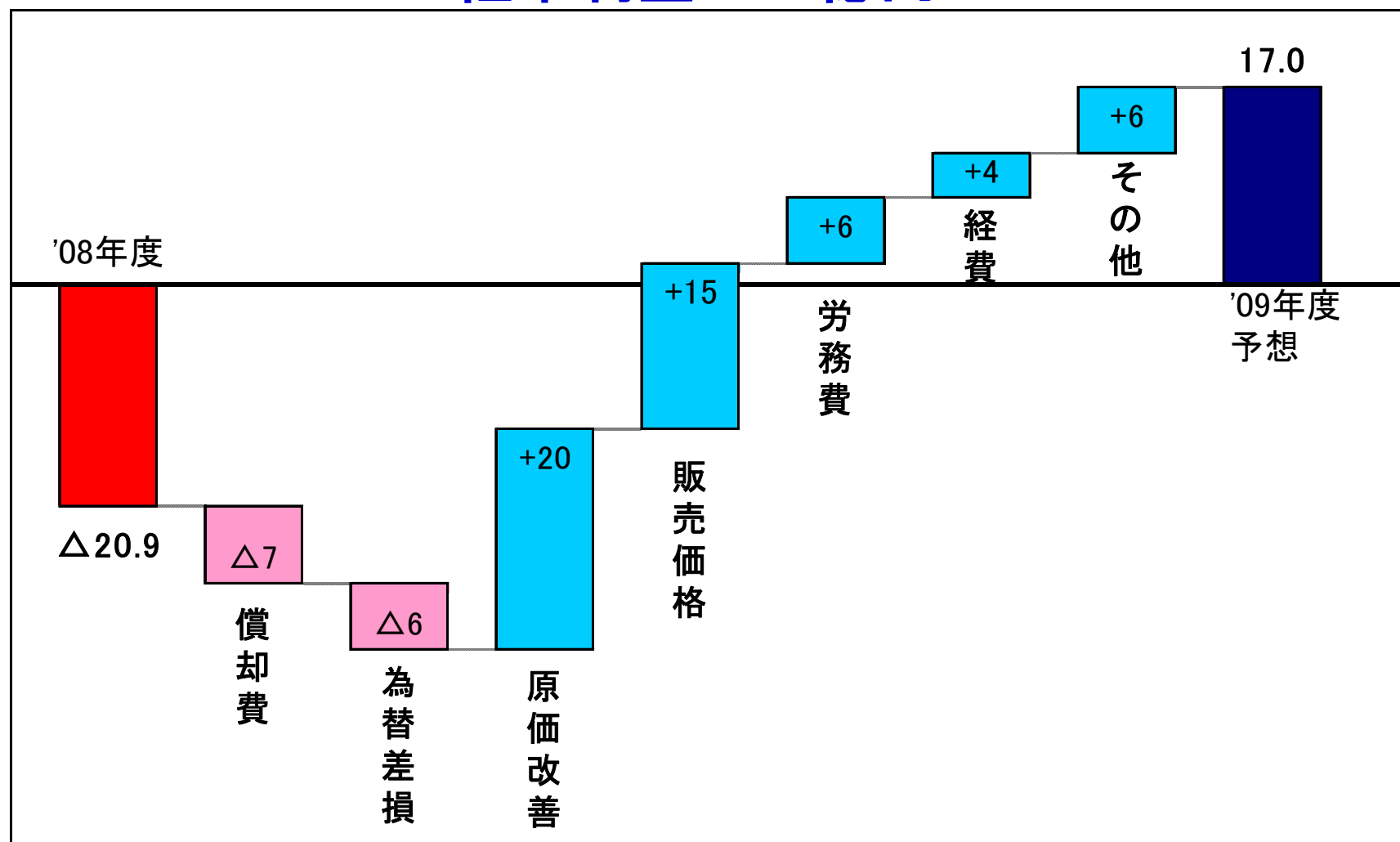
2-10 通期 個別業績予想

*過去最高値										[百万円]
	'07	'08	'09 (4/30予想)	'09 (今回予想)	前回予想比		前期比			
					増減	増減率	増減	増減率		
売上高	*70,302	58,049	50,500	59,000	8,500	+16.8	951	+1.6	2期振り増収	
営業利益	1,920	△2,666	200	1,400	1,200	+600.0	4,066	—	3期振り増益	
経常利益	2,527	△2,096	500	1,700	1,200	+240.0	3,796	—	3期振り増益	
当期純利益	1,400	△1,332	350	600	250	+71.4	1,932	—	3期振り増益	
配当金(1株当り)	10円	8円	6円	6円	0円		△2円			
経常利益率	3.6%	△3.6%	1.0%	2.9%	1.9%		6.5%			
ROE	3.6%	△3.9%	1.1%	1.9%	0.8%		5.8%			
ROA	2.9%	△2.5%	0.6%	2.2%	1.6%		4.7%			
一株当たり純資産(円)	682	588	589	601	12		13			



2-11 通期 個別利益増減要因

《'09通期 対 '08通期》
経常利益 +38億円



2-12 通期 連結業績予想

* 過去最高値

[百万円]

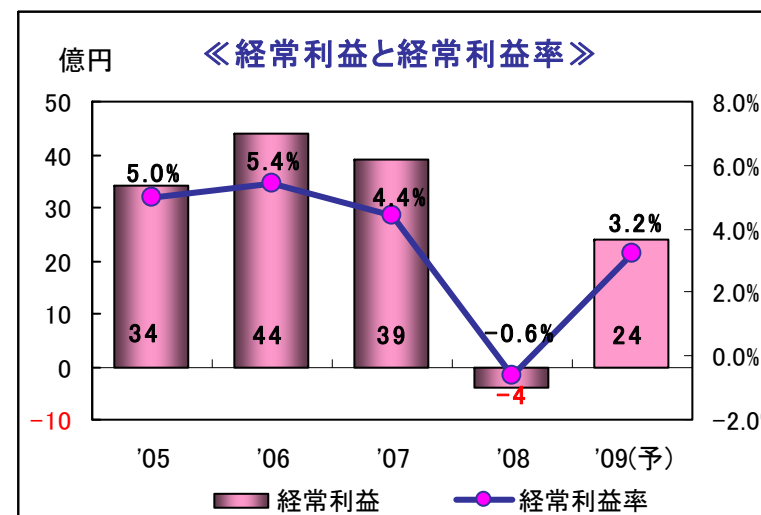
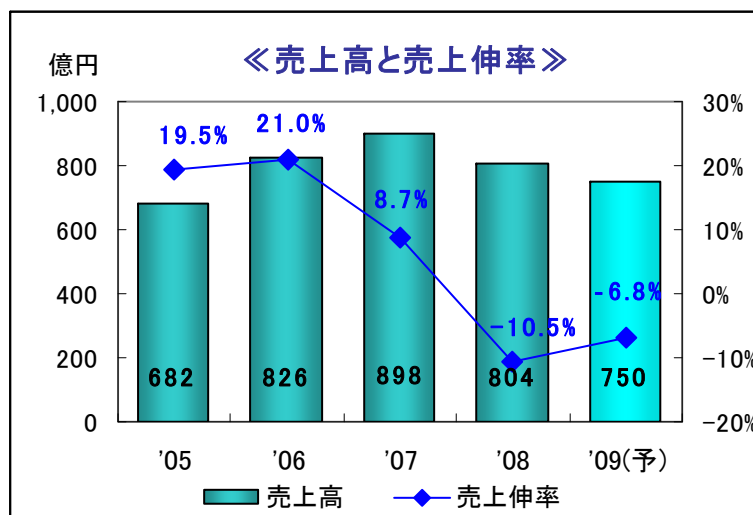
	'07	'08	'09 (4/30予想)	'09 (今回予想)	前回予想比		前期比		連単 倍率
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	*89,862	80,468	66,500	75,000	8,500	+12.8	△5,468	△6.8	1.3
営業利益	3,640	△437	750	2,200	1,450	+193.3	2,637	—	1.6
経常利益	3,976	△490	850	2,400	1,550	+182.4	2,890	—	1.4
当期純利益	2,335	△355	850	1,600	750	+88.2	1,955	—	2.7
経常上利益高率	4.4%	△0.6%	1.3%	3.2%	1.9%		3.8%		
R O E	5.6%	△1.0%	2.6%	4.8%	2.2%		5.8%		
R O A	4.0%	△0.5%	1.0%	2.8%	1.8%		3.3%		
一株当たり純資産 (円)	757	611	625	646	21		35		

2期連続減収

3期振り増益

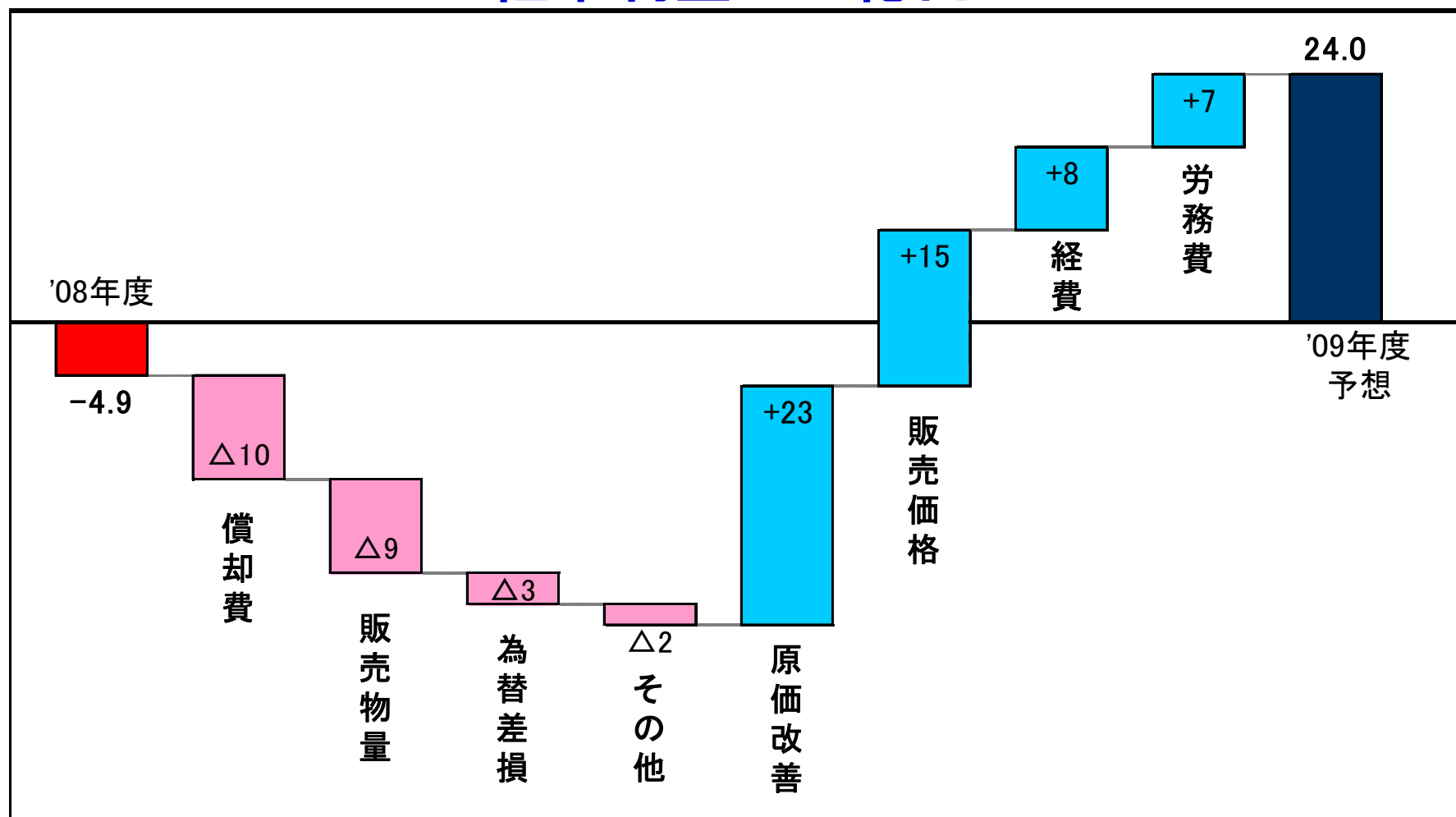
3期振り増益

3期振り増益



2-13 通期 連結利益増減要因

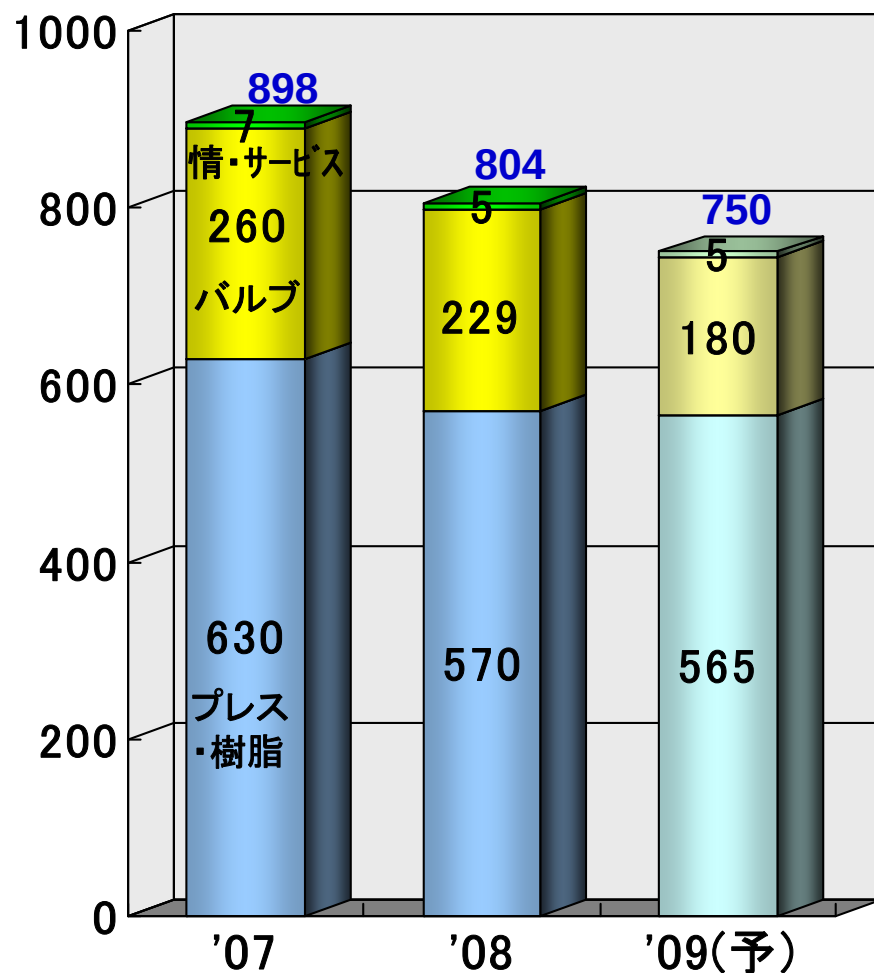
《'09通期 対 '08通期》
経常利益 +29億円



2-14 通期 連結事業別セグメント

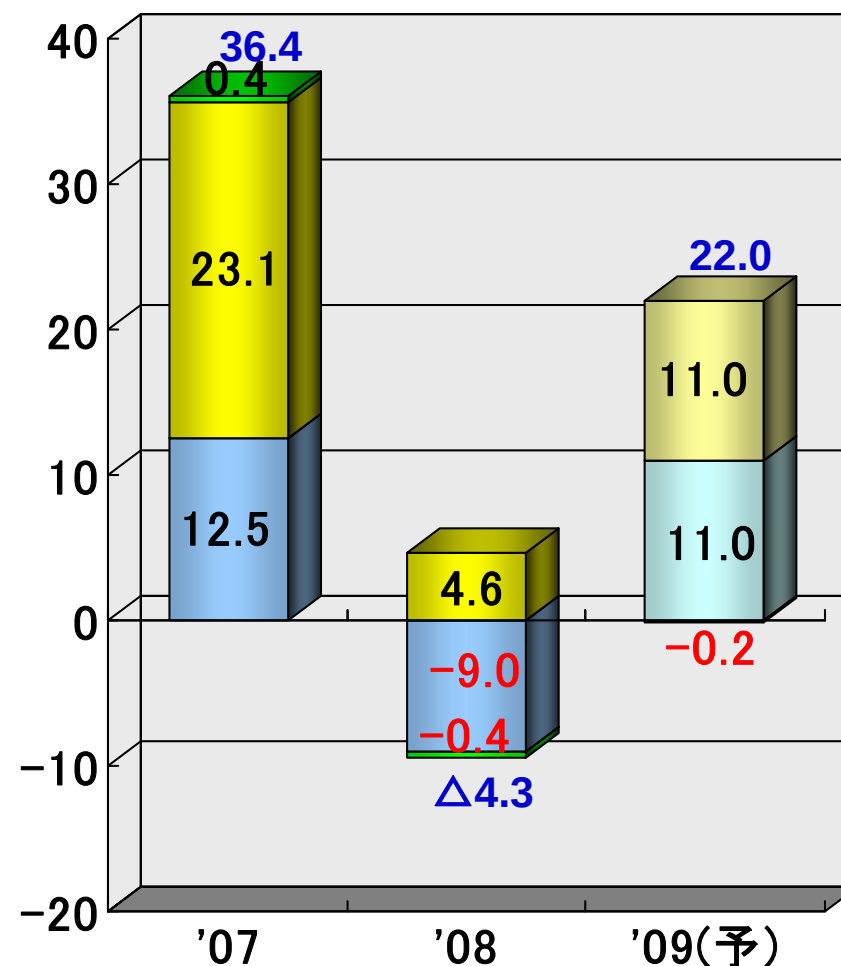
(億円)

《売上高》



(億円)

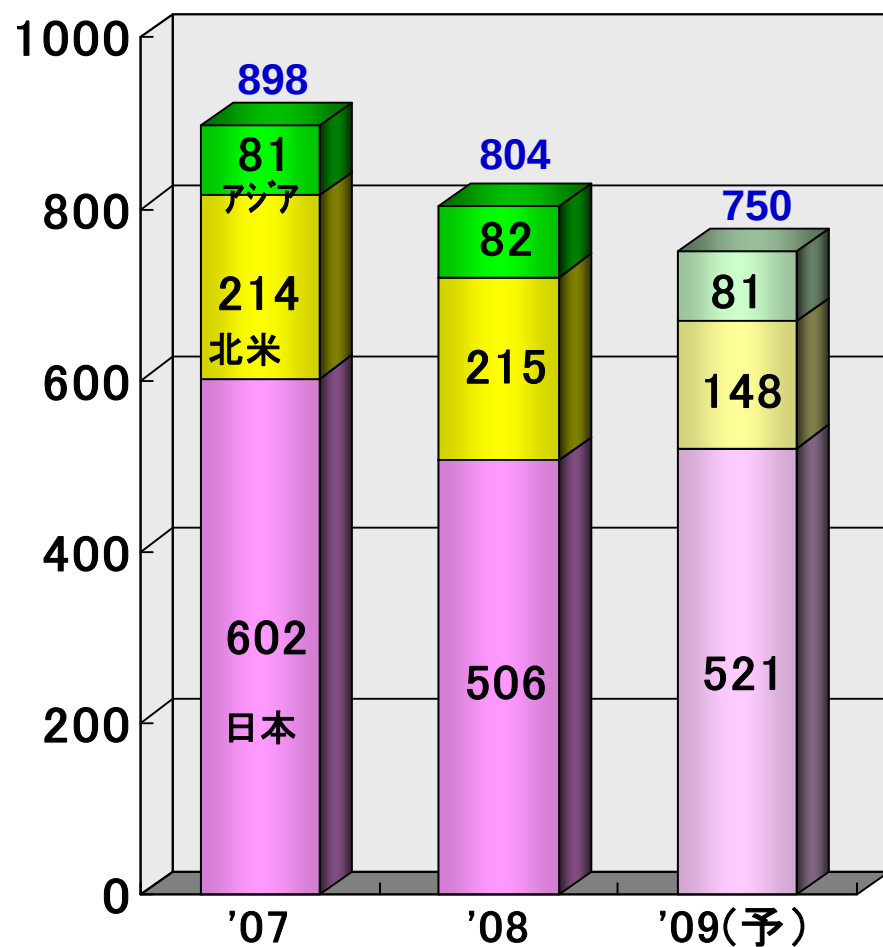
《営業利益》



2-15 通期 連結地域別セグメント

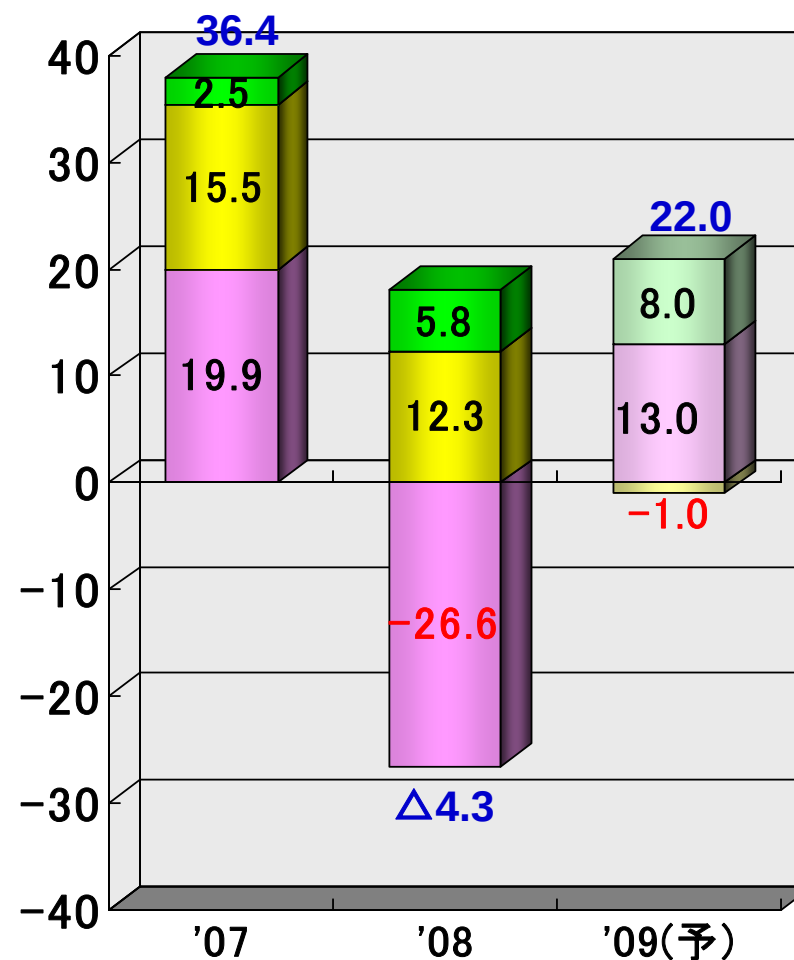
(億円)

《売上高》



(億円)

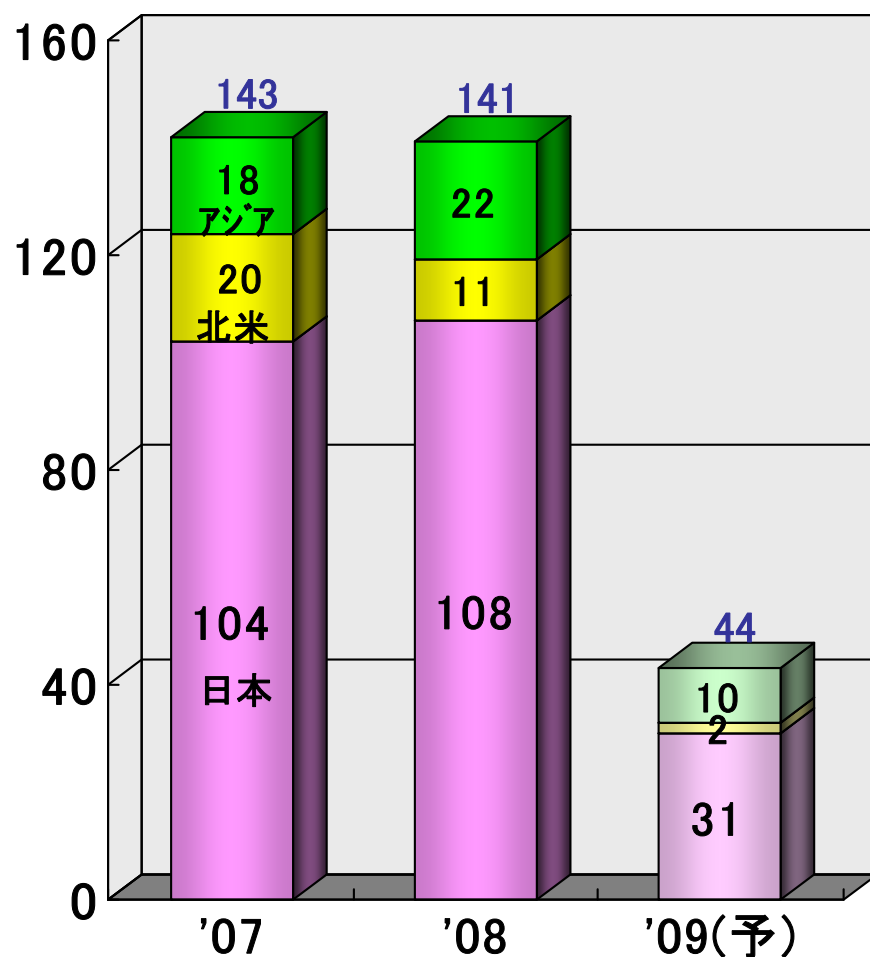
《営業利益》



2-16 通期 連結設備投資・減価償却費

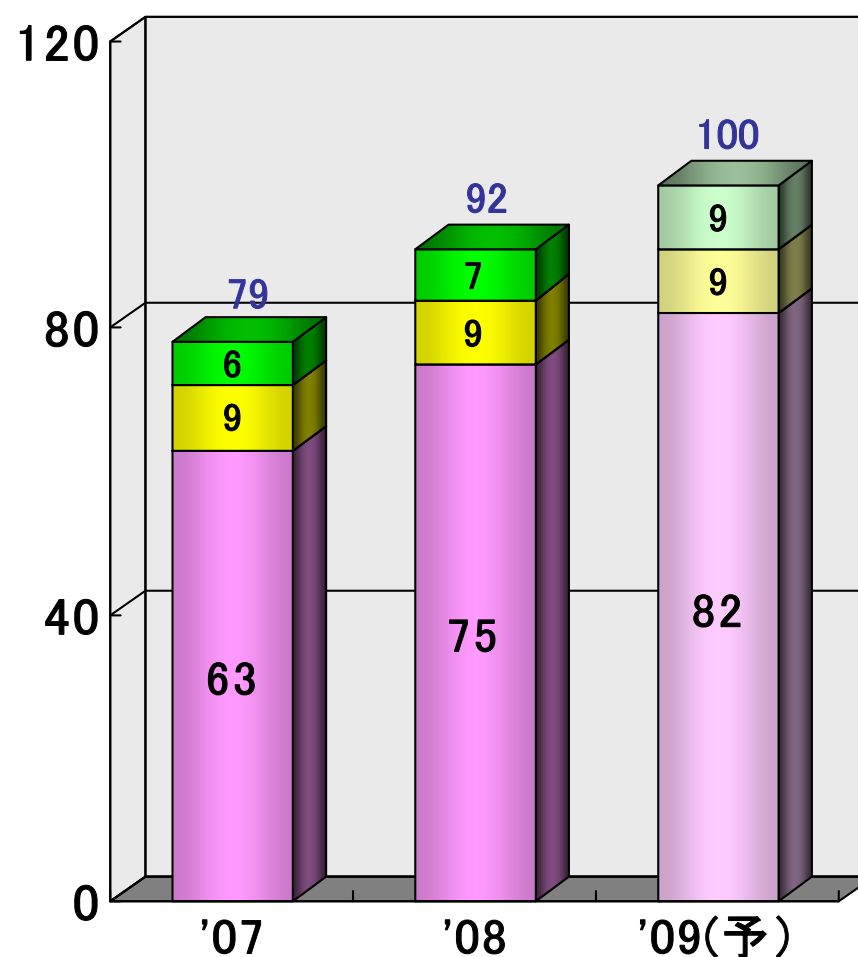
(億円)

《設備投資》

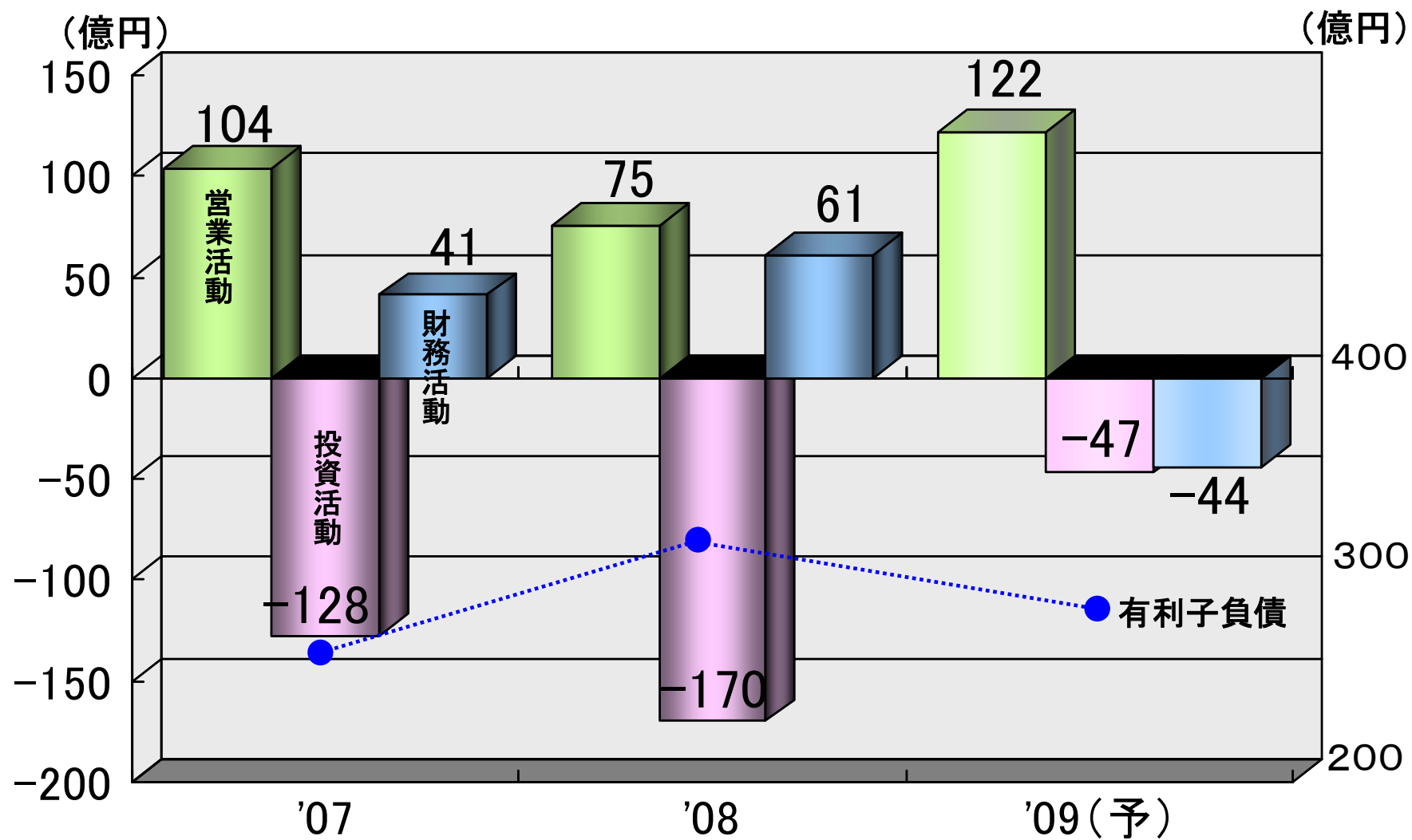


(億円)

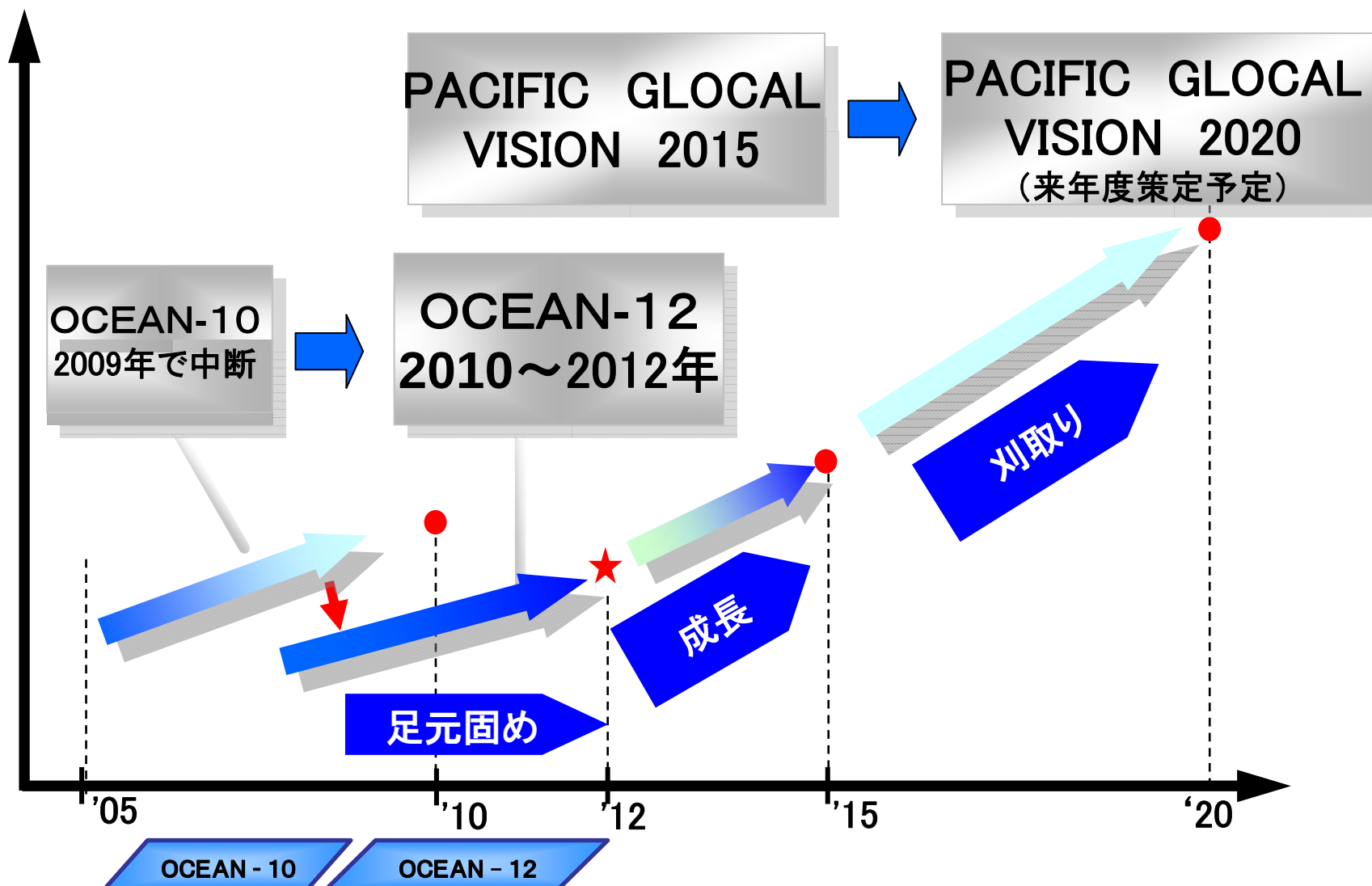
《減価償却費》



2-17 通期 連結キャッシュフロー



3-1 PACIFIC GLOCAL VISION と OCEAN-12



3-2 中期経営計画OCEAN-12

PACIFIC GLOBAL VISION 2015

中期経営計画「OCEAN-10」から「OCEAN-12」へ
「トップクラスのグローバルな部品メーカーを目指す」
キーワード:「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSRと環境保全」

OCEAN-10」

2006年度～2010年度
(環境激変により2008年度で中断)
リソースを投入して成長をめざす

- (1)戦略的拠点投資
 - ・海外子会社のプレス・樹脂事業 拡充(中国・北米)
 - ・九州工場 樹脂・プレス工場建設
- (2)新製品対応投資
 - ・TPMS生産ライン増設
 - ・オイルパンー貫生産ライン新設
 - ・高精度プレス生産ライン新設
- (3)能力増強投資
 - ・養老工場 金型工場増設
 - ・東大垣工場 プレス工場建設
- (4)CSR
 - ・内部統制システム整備(J-SOX対応)
 - ・「太平洋里山の森」活動

緊急収益改善活動

2008年秋～2009年春
急激な環境変化を受けて対策実施

- (1)原価改善
- (2)設備投資削減
- (3)労務費削減
- (4)経費削減
- (5)仕入先支援

平時から有事へ、そして長期へ

OCEAN-12」

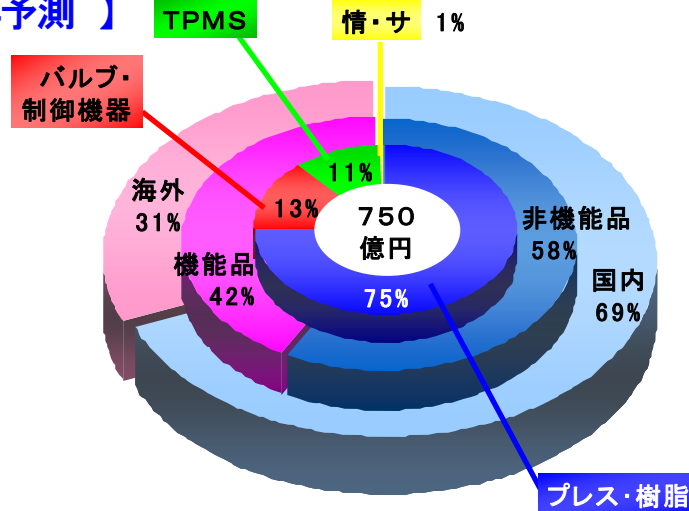
2010年度～2012年度
限られたリソースで成果出し
CSR・足元固めと技術開発

- (1)CSR:グループでコンプライアンス
- (2)事業:「選択と集中」で連結経営
- (3)収益:画期的原価低減と事業別採算
- (4)投資:償却内投資と早期回収
- (5)環境:環境に配慮した製品・工程・工場でCO2削減
- (6)開発:新技術・材料・工法で低コスト・軽量化開発
- (7)財務:有利子負債の圧縮とIFRS対応
- (8)人財:グローバル人財育成、ワークライフバランス

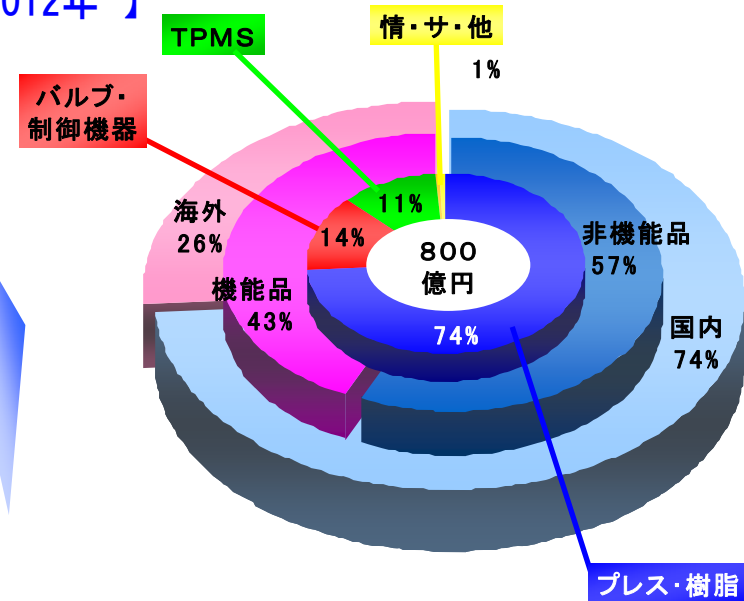
3-3 OCEAN-12数値計画①

売上高

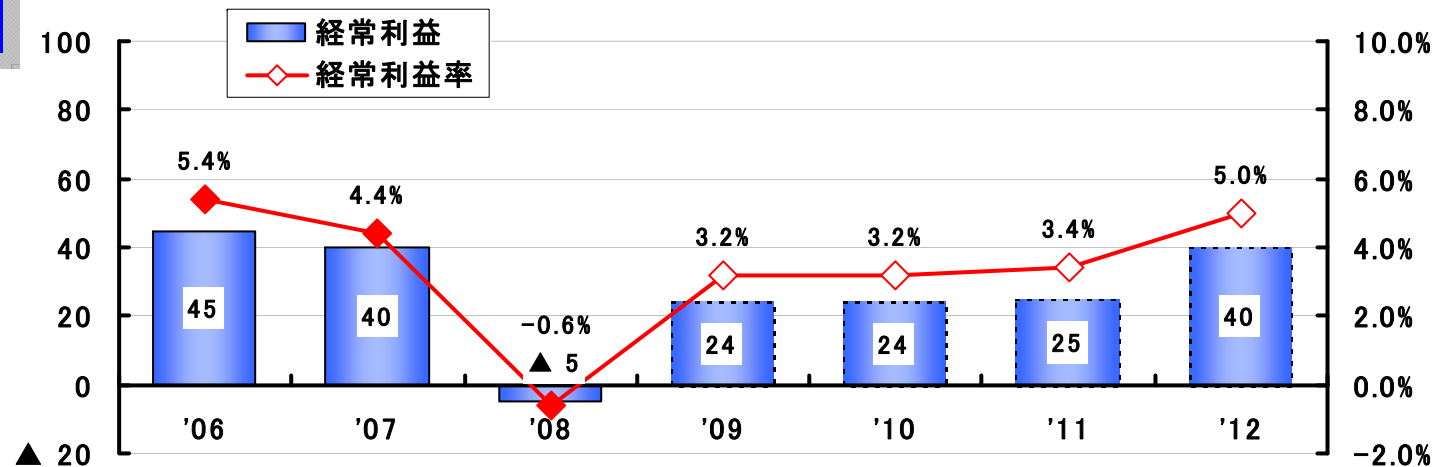
【 2009年予測 】



【 2012年 】



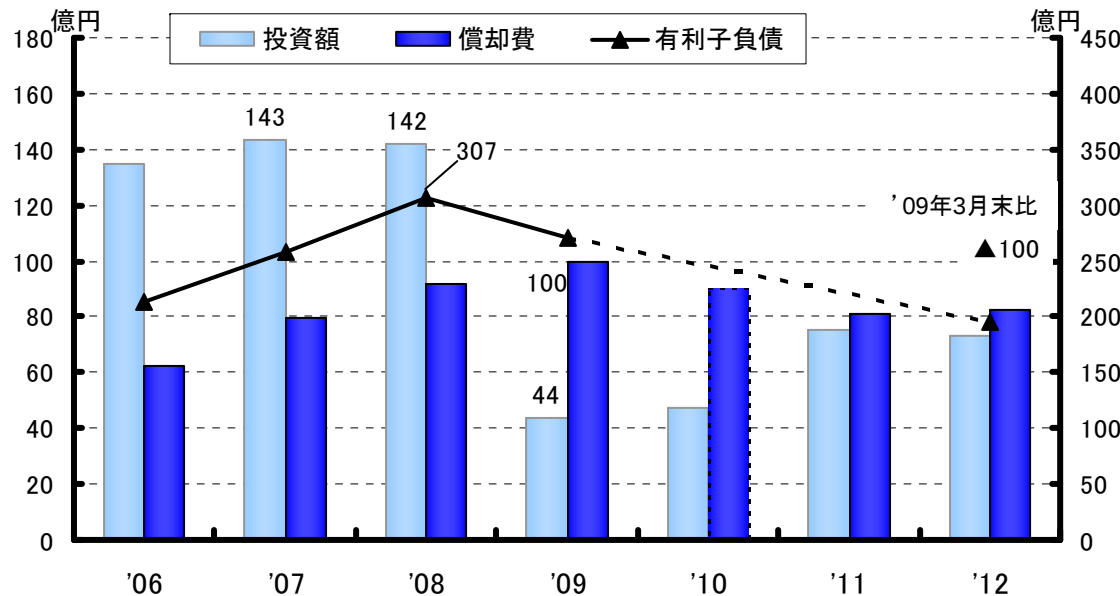
経常利益



3-4 OCEAN-12数値計画②

◆OCEAN-12

有利子負債残高を'09年3月末比1/3圧縮



事業		投資規模 ('09~'12)	主な技術開発テーマ
プレス	中国	20	軽量化 (超ハイテン、樹脂化)
バルブ	高精度プレス	10	シール技術 鍛造・ネットシェイプ
TPMS	生産対応	5	次世代機種 新センサー
環境投資		20	
合計		55	